

Life WASEDA UNIVERSITY
人生100年時代の大学

**Redesign
College**

遅すぎる学びはない。

入学説明会

2022年11月19日

早稲田大学 教務部社会人教育事業室

人生100年時代の到来

仕事を継続する方々の
働き方の多様化へのニーズ

仕事/子育てを卒業した方々の
生き方の多様化へのニーズ



プレシニア～シニアが幸福感や充実感を持って人生の後半を生きる社会を
つくることは、**高齢化最先進国である日本の重要な課題**

下記のようなニーズを持つ 50歳以上のプレシニア・シニア層の方々

これまでの仕事や経験
とは異なる新しいこと
を学びたい

これまでの経験を
活かして学びを
深めたい

人や社会と繋がり続け、
共に学ぶことの喜びを
享受したい

社会や次世代のために
貢献したい

自身の知識や経験を
次世代に伝承したい

受講期間	<p>年間4学期制</p> <ul style="list-style-type: none">・春学期、夏学期、秋学期、冬学期の4学期制を採用・学びのサイクルを短くすることで、効率的に多くの科目の受講が可能・4月入学、翌年3月修了
受講方法	<p>通学制</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティ形成を重視し通学制で開校（一部オンラインあり）・授業実施曜日は火曜日、木曜日、土曜日の週3日 (オープンカレッジ講座は他の曜日も開講)

Life Redesign 科目群	本カレッジのベースとなる科目群
専門科目群	多様な個々人のニーズを満たす科目群
ゼミナール	関心を共有するメンバーとの学びの深化
クラスワーク (科目ではないが原則参加)	1年を通して同じメンバーで活動

Life Redesign科目群

新たなコミュニティへの参加マインドを整え、経験/強み/潜在的な欲求を振り返り、これからの人生の方向性を描く

専門科目群

Social Issues (社会課題) 領域

今日の社会課題と解決方法を
体系的かつ実践的に学ぶ

Liberal Arts (教養) 領域

見識・知識を拡大、深化させ
教養の基盤を強化する

Communication (表現・伝承) 領域

新たな表現法、効果的なメディア活用
先端的な発信スキルを習得する

Seminar (ゼミナール)

自身の関心を深化させ、今後のライフデザインと関連付けてまとめ上げる

導入となる科目群

- ・ 今までの人生の振り返りや知識・経験の棚卸しを行う
- ・ これからの生き方をデザインするための土台となる知識や思考法を学ぶ
- ・ 主に春学期と夏学期に受講。

科目名（変更の可能性あり）	担当講師（変更の可能性あり）
【必修】人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～ ※	蛭原 恵子 （株式会社インソース シニア講師）
【選択必修】ジェロントロジー入門（2023年度新規設置）	前田 展弘 （株式会社ニッセイ基礎研究所 上席研究員）
【選択必修】クリエイティブシンキング～未来社会の創造的考察～	横田 幸信 （i.school ディレクター、i.lab代表取締役）
【選択必修】異文化コミュニケーション	花光 里香（早稲田大学教授）
【選択必修】アンガーマネジメント～自分も相手もOKになる解決方法を学ぶ～	本田 恵子（早稲田大学教授） 他

※本講義では3回の集中講義を実施します。2023年度は初回は4月13日（木）or 4月15日（土）終日の集中講義、2回目の9月16日（土）と3回目の12月16日（土）は、それぞれ午前or 午後に半日での集中講義を予定。原則として日時は大学が指定しますが、4月13日（木）のみ平日のため特別な事情がある場合に調整を行います。

3つの領域

- Social Issues（社会課題）
- Liberal Arts（教養）
- Communication（表現・伝承）

科目履修

- 各領域に必修科目（選択必修を含む）を設置。
- 必修科目（選択必修を含む）以外は、各自の関心に応じて自由に科目を受講。
- 3つの領域を横断的に学ぶことも可能。

カリキュラム | 専門科目群 Social Issues (社会課題) 領域

- ・ **社会課題解決・社会貢献に取り組む際のベースとなる知識を身につけるため、国内外で起こっている社会課題の現状を知り、課題解決方法を実践的に学ぶ** (企業/自治体/個人のケーススタディ、体験、実践者との対話等)

科目名 (変更の可能性あり)	担当講師 (変更の可能性あり)
【必修】SDGs概論～ゴール達成のための実践的思考法～	(調整中) SDGパートナーズ 代表取締役CEO 田瀬 和夫、ほか
【選択必修】持続可能な社会とNPO/NGOの役割	若林 秀樹 (国際協力NGOセンター理事/THINK Lobby 所長)
【選択必修】ソーシャルビジネスとSDGs	谷本 寛治 (早稲田大学教授)
【選択必修】あなたの体験を社会貢献に生かす方法論～アクションプランニング～(調整中)	佐々木俊介 (早稲田大学講師)
【選択必修】朝日新聞Reライフ協力講座 (タイトル未定) (2023年度新規設置予定)	(調整中) 朝日新聞Reライフとの協議中
【選択】あなたの体験を社会貢献に生かす方法論～実践編～	岩井 雪乃 (早稲田大学准教授)
【選択】食料・農業・農村問題入門 ～～再生の道を考える～	柏 雅之 (早稲田大学教授)
【選択】頻発する災害に市民はいかに向き合うべきか ～災害現象への理解と基本的な備え～	浦野 正樹 (早稲田大学名誉教授)
【選択】課題解決に向けた事業創造プラクティス～リアルな社会課題、地域課題に向き合う～	伊藤 淳司 (NPO法人ETIC.ローカルイノベーション事業部 事業部長)
【選択】ケーススタディ (NPO・NGO) ～NPO・NGOの理解と実務～	上田 英司 (NPO法人日本NPOセンター 事務局次長)
【選択】(仮題)ジェンダーを考える (2023年度新規設置予定)	調整中
【選択】(仮題)教育格差・国際教育開発を知る (2023年度新規設置予定)	調整中
【選択】(仮題)地域活性化・地方創成実践論 (2023年度新規設置予定)	調整中

自身のニーズと希望に合わせて幅広く学ぶ

- 既存の知見をさらに深める
- 今まで学ぶ機会がなかった新たな学問に挑戦する
- 新たな視点を得る
- Social IssuesやCommunicationを学修する過程で必要と感じる知識を補う など

必修科目「アカデミックリテラシー」のほか、本学の公開講座「オープンカレッジ」（年間約1,900講座〈内400講座はオンラインで受講可能〉）から希望の科目を選択して受講。LRCの受講生は「オープンカレッジ」の講座を**制限なく受講可能**

科目名	担当講師
【必修】アカデミック・リテラシー～ 学びを深めるための方法と研究を行うための基礎～	守口剛（早稲田大学教授）、ほか
【選択】公開講座「オープンカレッジ」年間設置約1,900講座より選択	各講座による

カリキュラム | 専門科目群 Communication (表現・伝承) 領域

今まで培ったスキルや知識を今後も有効に活用し、自身および自身が扱う事柄について効果的に発信するための学ぶ

ライティングやプレゼンテーション手法、表現力をブラッシュアップ、コミュニケーションツールとなる現代メディアの特徴や使い方を習得

株式会社電通プロデュースによる実践的かつ先端的な授業の提供

科目名 (変更の可能性あり)

担当講師 (変更の可能性あり)

【必修】 現代理解	株式会社メディアコラボ代表取締役 古田 大輔
【選択】 自己分析 (増設) ※	アースシップ・コンサルティング 代表 松山淳
【選択】 伝えるための言葉の技術	(調整中) 株式会社電通所属のコピーライター複数名を予定
【選択】 シニアマーケティング・若者学	(調整中) 斉藤徹・小島雄一郎 ※両者とも株式会社電通社員
【選択】 伝えるための表現ステップ～アウトプットのプロセスを習得する	(調整中) 株式会社favy執行役員CCO 齋藤尚司
【選択】 自己表現のための現代メディア	(調整中) 株式会社GiftX 代表取締役社長 飯高悠太 (調整中) 株式会社ホットリンクマーケティング本部長 室谷良平
【選択】 表現手法(プレゼンテーション)	株式会社メディアジーン 編集部門執行役員 遠藤祐子
【選択】 表現手法(ライティング)	(調整中) 株式会社電通 クリエイティブディレクター・コピーライター 薄景子

※2023年度は6月27日(火)と6月29日(木)の10時～17時の集中講義を予定。履修する場合はいずれかの日を選択。10名以上の履修が集まらなかった場合はその日の開講を中止。また、片方の日程に40名以上の登録希望者が集中した場合は日程の変更をお願いする場合があります。

Seminar (ゼミナール)

ゼミナール概要

- ・ 修了後の自身のライフデザインと関連付けてゼミを選択
- ・ 各自の学びを深め、今後の方向性も勘案して成果物（修了論文、修了リサーチペーパー、修了制作）を作成することがゼミナール修了の要件

5つのゼミナール

- ・ 2023年度は6つのゼミナールを設置、各ゼミナールに15名前後が所属する。
- ・ 秋学期・冬学期に開講、土曜日の14時50分～16時20分、もしくは16時40分～18時10分に開講

科目名（副題は秋学期のもの）（変更の可能性あり）	担当講師（変更の可能性あり）
Social Issuesゼミ1～社会課題の構図と論点を見極める～	吉田 徳久（早稲田大学名誉教授）
Social Issuesゼミ2～社会問題とその取り組みに向けたシニアの活躍を考える～	和田 修一（早稲田大学名誉教授）
Liberal Artsゼミ1～判ること、知ることの感動～	橋本 周司（早稲田大学名誉教授）
Liberal Artsゼミ2～研究の方法を学び実践する～	守口 剛（早稲田大学教授）
Liberal Artsゼミ3（2023年度新規設置予定）	調整中
Communicationゼミ	（調整中）株式会社UltraBlack 代表取締役 藤本宗将

クラスワーク

クラスワーク概要

- コミュニティの活性化を目的として、ゼミなどの科目とは別に、15～20人からなるクラスに所属
- 1年を通じて同じ仲間とともに伝統的な哲学や思想をベースに議論し、共に考えを深める
- 本学の名誉教授など大学での教員歴が豊富な講師が担当

クラスワーク制度

- 各学期4回（隔週）、土曜日の10時30分～12時に開講
- **全員参加を原則とするが、履修要件には含めない（科目ではない）**

クラスワーク担当講師（変更の可能性有り）

古賀 勝次郎（早稲田大学名誉教授）

佐藤 正志（早稲田大学名誉教授）

土田 健次郎（早稲田大学名誉教授）

調整中（2023年度増設予定）

クラスワーク担当講師メッセージ一例（佐藤正志名誉教授）



早稲田大学教授を定年退職。早稲田大学大学院政治学研究科長、同政治経済学術院長・政治経済学部長、早稲田大学理事を歴任。『ホブズ、リヴァイアサン』（共著、有斐閣、1978年）、『政治学講義』（共編著、早稲田大学出版部、1989年）、『政治思想のパラダイム—政治概念の持続と変容』（新評論、1996年）、『政治概念のコンテクスト—近代イギリス政治思想史研究』（共編著、早稲田大学出版部、1999年）、『啓蒙と政治』（編著、早稲田大学出版部、2009年）、『現代政治理論』（共編著、おうふう、2009年）、『多元主義と多文化主義の間—現代イギリス政治思想史研究』（共編著、早稲田大学出版部、2013年）。

メッセージ

私の専門は、初期近代と啓蒙を中心とした西洋政治思想史、および政治哲学・規範的政治理論で、とくに、ホブズやルソー、古典的政治哲学の伝統や公共哲学などに関心をもってきました。クラスワークは、共に学び合うことを目標に、お互いの問題関心や現代の社会的課題などについて自由なディスカッションを行う場になればと思っています。また古典と一緒に読みながら、リベラル・アーツの意味なども共に考える時間も持ちたいと思います。さらに、これから何を学ぶのか、どのように学べばよいのかといったことについても情報を出し合えるとよいのではないのでしょうか。こうしたクラスでの活動が、語りあうコミュニティの中でそれぞれの人が自らの生の意味を考えながら新しいライフ・ステージに踏み出してゆくきっかけとなることを願っています。私もまたこの場で学びたいと思っています。

カリキュラム | 開講曜日・時間

- 授業は火曜日、木曜日、土曜日の週3日実施※
- 午前1コマ（10時30分～12時）と午後2コマ（13時～14時30分、14時50分～16時20分）に実施
 - ※一部の科目および秋学期からのゼミは16時40分～18時10分の可能性あり
- 専門科目群のLiberal Arts（教養）領域の選択科目は、本学エクステンションセンターが展開するオープンカレッジの講座（年間約1,900講座/オンライン400講座を含む）から受講
 - ※オープンカレッジは月曜日から土曜日の終日、科目を開講してるため、どの科目を受講するかによっては週4日以上を受講となる場合あり
 - ※オープンカレッジのオンライン講座は録画データ視聴による事後受講も可能

カリキュラム | プログラム修了要件

- 1年間で12科目以上の科目の修了が必須要件
- 各科目を修了するために、各科目2/3以上の出席と、課題の提出（科目による）が必要
- それぞれの科目は90分×7回の講義で構成（オープンカレッジ科目を除く）

科目群	必修/選択	修了要件科目数	備考
Life Redesign 科目群	必修	1科目	4月13日（木）or 4月15日（土） 10時～17時 9月16日（土）午前or午後、 12月16日（土）午前or午後
	選択必修	2科目	指定の4科目から2科目選択、登録上限も2科目
専門科目群	必修	3科目	
	選択必修	1科目以上	Social Issues領域の指定の4科目から1科目以上選択、 登録上限は2科目
	選択	3科目以上	3領域の科目から選択
ゼミナール	必修	2科目	秋学期1科目、冬学期1科目の計2科目 原則同一講師によるゼミナールを受講
合計		12科目以上	

カリキュラム | 学期別曜日別設置予定科目数（集中科目を除く、LRCオリジナル科目のみ※クラスワークを含む）

※時間割は11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

学期	時限	火	木	土
春	1	—	—	クラスワーク 選択必修 (SI)
	2	選択必修 (LR)	選択必修 (SI)	必修 (SI)
	3	選択 (SI)	選択必修 (SI)	必修 (LA)
合計科目数		2	2	4

学期	時限	火	木	土
夏	1	—	—	クラスワーク 選択必修 (SI)
	2	選択 (C)	選択 (C)	必修 (C)
	3	選択必修 (LR)	選択必修 (SI)	選択必修 (LR)
合計科目数		2	2	4

学期	時限	火	木	土
秋	1	選択 (SI)	選択 (SI)	クラスワーク
	2	選択 (SI)	選択 (C)	選択必修 (LR)
	3	選択 (C)	選択 (SI)	必修 (S)
	4	—	—	必修 (S)
合計科目数		2	2	4

学期	時限	火	木	土
冬	1	—	—	クラスワーク
	2	選択 (C)	選択 (SI)	選択 (SI)
	3	選択 (SI)	選択 (C)	必修 (S)
	4	—	—	必修 (S)
合計科目数		2	2	4

LR：Life Redesign科目群、SI：専門科目群Social Issues領域、LA：専門科目群Liberal Arts領域、C：専門科目群Communication領域、S：ゼミナール、（赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目）

- ・春学期、夏学期は**必修**、**選択必修科目**で埋まるコマが多いが、秋学期以降は土曜日を中心に希望する選択科目を履修する。
- ・**LR必修科目**「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」は春（4月13日or4月15日終日）、夏（9月16日午前or午後）、秋（12月16日午前or午後）に設置予定

カリキュラム | 学期別時間割予定 (春学期) ※集中科目を除くLRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	—	—	クラスワーク (隔週開講) 朝日新聞Reライフ協力講座 (SI) (隔週開講)
2	異文化コミュニケーション (LR)	あなたの体験を社会貢献に生かす方法論～アクション プランニング～ (SI)	SDGs概論～ゴール達成のための 実践的思考法～ (SI)
3	(仮題) ジェンダーを考える ※時間割調整中	ソーシャルビジネスとSDGs (SI) ※時間割調整中	アカデミック・リテラシー～学びを深めるための方法 と研究を行うための基礎～ (LA)

LR : Life Redesign科目群、SI : 専門科目群Social Issues領域、LA : 専門科目群Liberal Arts領域、C : 専門科目群Communication領域、
S : ゼミナール、 (赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

・春学期の土曜日は**必修科目**、**クラスワーク**、**選択必修科目**でコマが埋まる。

※【**要注意**】土曜日のみの通学で修了を目指す場合、春学期土曜日の**選択必修科目 (SI)**は履修必須となる。

・「朝日新聞Reライフ協力講座」は、春学期3回と夏学期3回の計6回の講義で構成されている。

・本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」を4月13日 (木) および4月15日 (土) 10時～17時に設置予定 (集中講義)。いずれかの受講が必須 (原則として受講日時は大学が指定するが、4月13日 (木) が平日のため**特別な事情がある場合に調整を行う**)。

・本時間割以外にCの選択科目「自己分析」を6月27日 (火) と 6月29日 (木) の 10時～17時の集中講義を予定。履修する場合はいずれかの日を選択。**10名以上の履修が集まらなかった場合はその日の開講を中止。また、片方の日程に40名以上の登録希望者が集中した場合は日程の変更をお願いする場合がある。**

カリキュラム | 学期別時間割予定 (夏学期) ※ LRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	—	—	クラスワーク (隔週開講) 朝日新聞Reライフ協力講座 (SI) (隔週開講)
2	シニアマーケティング・若者学 (C) ※時間割調整中	伝えるための言葉の技術 (C) ※時間割調整中	現代理解 (C)
3	クリエイティブシンキング ～未来社会の創造的考察～ (LR)	持続可能な社会と NPO/NGOの役割 (SI)	ジェロントロジー入門 (LR)

LR : Life Redesign科目群、SI : 専門科目群Social Issues領域、LA : 専門科目群Liberal Arts領域、C : 専門科目群Communication領域、S : ゼミナール、(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

・夏学期の土曜日は**必修科目**、**クラスワーク**、**選択必修科目**でコマが埋まる。

※【要注意】土曜日みの通学で修了を目指す場合、夏学期土曜日の**選択必修科目 (SI)** および**選択必修科目 (LR)** は履修必須となる。

・「朝日新聞Reライフ協力講座」は、春学期3回と夏学期3回の計6回の講義で構成されている。

・本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」を9月16日 (土) に設置予定 (午前or午後のみ集中講義)

カリキュラム | 学期別時間割予定 (秋学期) ※ LRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	(仮題) 教育格差・国際教育開発を知る (SI) ※時間割調整中	(仮題) 地域活性化・地方創成実践論 (SI) ※時間割調整中	クラスワーク (隔週開講)
2	あなたの体験を社会貢献に生かす方法論 ～実践編 (SI)	自己表現のための現代メディア (C) ※時間割調整中	アンガーマネジメント (LR)
3	伝えるための表現ステップ～アウト プットのプロセスを習得する (C) ※時間割調整中	食料・農業・農村問題入門 ～再生の道を考える～ (SI)	ゼミナール (S)
4			ゼミナール (S)

LR：Life Redesign科目群、SI：専門科目群Social Issues領域、LA：専門科目群Liberal Arts領域、C：専門科目群Communication領域、
S：ゼミナール、(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

- ・秋学期より必修科目(ゼミ)と選択必修科目は土曜日でのみの開講となる。自身のテーマに合わせて選択科目やオープンカレッジ講座を受講する。
※【要注意】土曜日でのみの通学で修了を目指す場合、夏学期土曜日の選択必修科目(LR)は履修必須となる。
- ・ゼミナールでの課題や1年間の集大成となる成果物(論文、リサーチペーパー、制作物)に取り組む。
- ・本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」を12月16日(土)に設置予定(午前or午後でのみの集中講義)

カリキュラム | 学期別時間割予定 (冬学期) ※ LRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	—	—	クラスワーク
2	表現手法(ライティング) (C) ※時間割調整中	課題解決に向けた事業創造プラクティス～ リアルな社会課題、地域課題に向き合う～ (SI)	ケーススタディ (NPO・NGO) ～NPO・ NGOの理解と実務～ (SI)
3	頻発する災害に市民はいかに向き合う べきか ～災害現象への理解と基本 的な備え～ (SI)	表現手法(プレゼンテーション) (C)	ゼミナール
4			ゼミナール

LR : Life Redesign科目群、SI : 専門科目群Social Issues領域、LA : 専門科目群Liberal Arts領域、C : 専門科目群Communication領域、
S : ゼミナール、(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

- ・冬学期も秋学期同様、必修科目(ゼミ)は土曜日でのみの開講となる。自身のテーマに合わせて選択科目やオープンカレッジ講座を受講する。
- ・ゼミナールでの課題や1年間の集大成となる成果物(論文、リサーチペーパー、制作物)に取り組む。

カリキュラム | 履修モデル

(土曜日のみ通学・最少登録科目Ver：春学期・夏学期の一例※集中講義を除く)

春学期 (※水曜日夜間にオープンカレッジオンライン講座受講)

	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講) / 朝日新聞Reライ フ協力講座 (SI) (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			SDG s 概論 (SI)
3時限目 (14:50~16:20)			アカデミックリ テラシー (LA)

夏学期 (※水曜日夜間にオープンカレッジオンライン講座受講)

	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講) / 朝日新聞Reライ フ協力講座 (SI) (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			現代理解 (LA)
3時限目 (14:50~16:20)			ジェロントロ ジー入門 (LR)

(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

本例は最小登録Verのため、空いている曜日・時限に他の科目 (オープンカレッジ科目を含む) を入れることは可能

※修了に必要な選択科目3科目の内の2科目をオープンカレッジのオンライン講座で自宅や外出先から受講する (録画データ視聴による事後受講も可能) ことを想定

カリキュラム | 履修モデル

(土曜日のみ通学・最少登録科目Ver：秋学期・冬学期の一例※集中講義を除く)

秋学期

	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			アンガーマネジ メント (LR)
3時限目 (14:50~16:20)			ゼミナール

冬学期

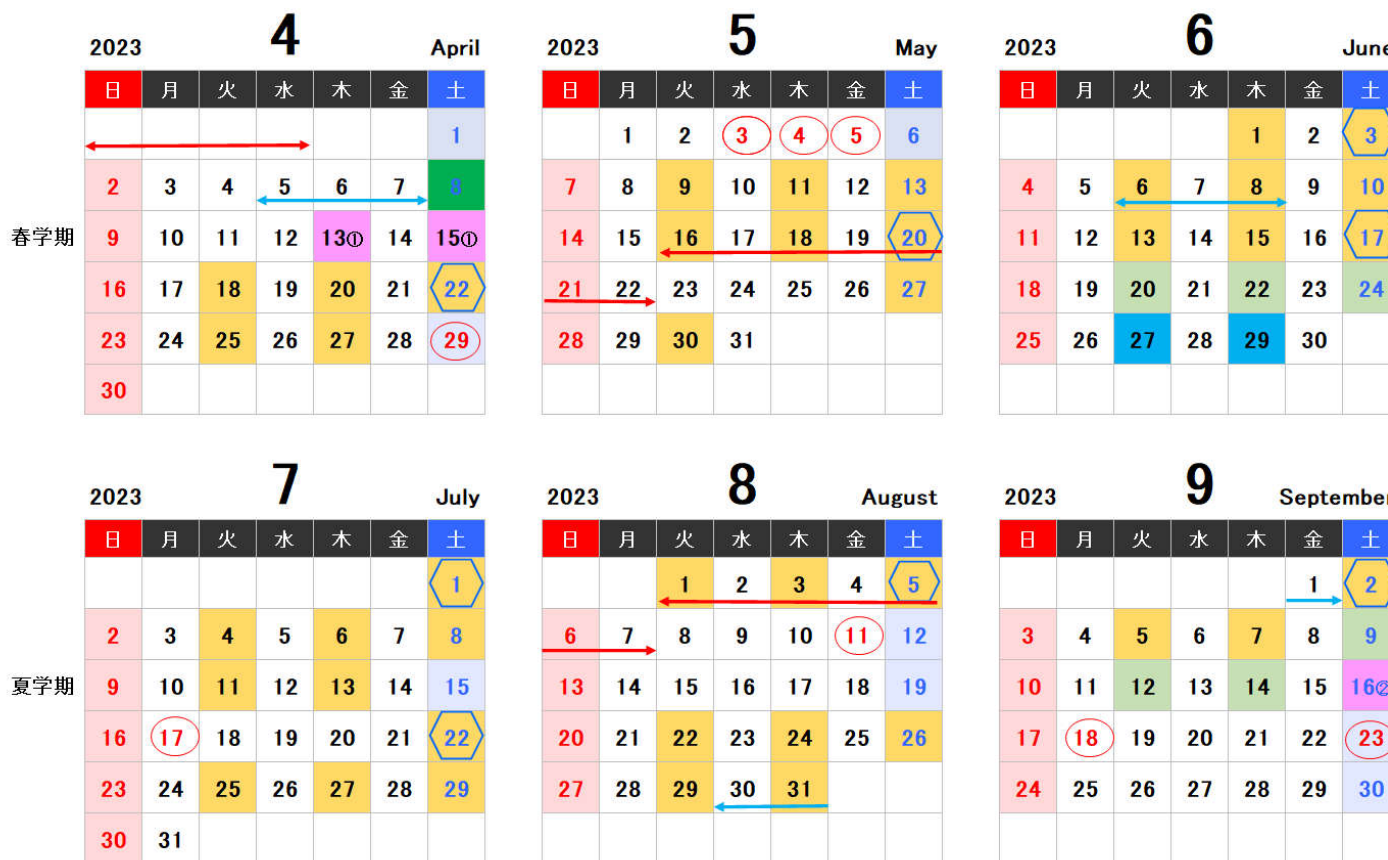
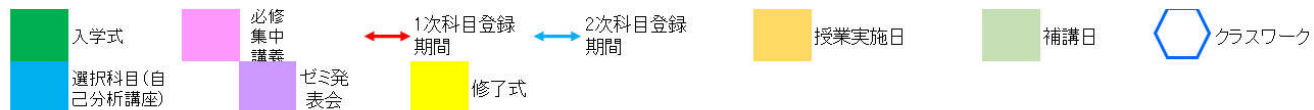
	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			ケーススタディ (NPO・NGO) ~NPO・NGOの 理解と実務~ (SI)
3時限目 (14:50~16:20)			ゼミナール

(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

本例は土曜日のみ通学・最少登録Verのため、空いている曜日・時限に他の科目（オープンカレッジを含む）を履修することが可能

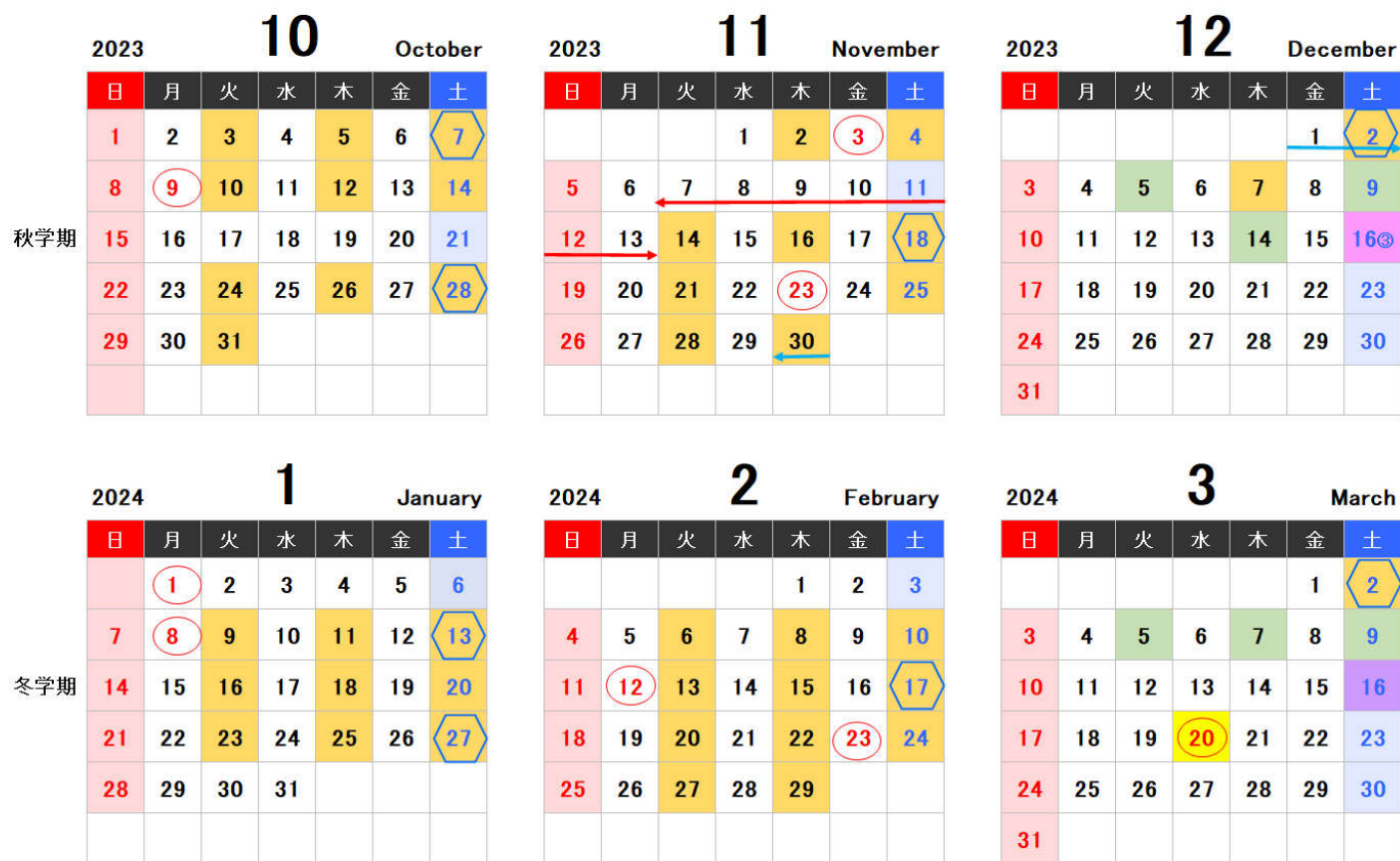
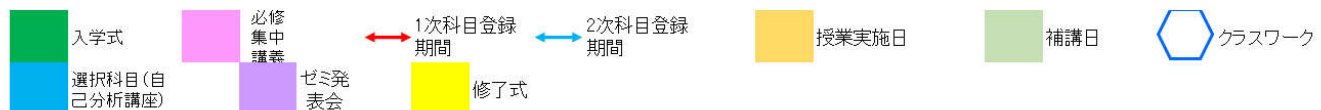
2022年度授業カレンダー（春・夏学期）

※11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。



2022年度授業カレンダー（秋・冬学期）

※11月14日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。



キャンパスライフの楽しみ

日本橋 キャンパス	<ul style="list-style-type: none">• 地下鉄日本橋駅直結のコレド日本橋5階の日本橋キャンパスで開講• 授業やゼミ終了後などに、商業施設や飲食店が充実している日本橋を満喫
課外活動	<ul style="list-style-type: none">• 受講生同士の学び合い、教え合い（それぞれの得意分野について）のサポート• LRCサポーター、本学教員等を特別講師に招いての講演会• 事務局主催の課外活動や交流会などの季節のイベント• 現役学生、留学生数の多い本学ならではの異世代/異文化コミュニケーションの機会
自主的な 活動の支援	<ul style="list-style-type: none">• サークル活動やゼミメイト、クラスメイトとの自主的な課外活動を支援

修了後のイメージ

様々な分野での活動

これまでの経験とLRCで得た学びと繋がりをもとに、多様な分野で活動することを想定

- 社会課題に関連する活動（ボランティア、NPO/NGO、社会起業など）
- 居住地域や修了生同士での社会貢献活動
- まったく異なる業種へのチャレンジ
- SNS等のメディアを活用したフリーランスとしての情報発信
- フリーランスのコンサルやプロボノとしての活動
- 学部、大学院への進学
- 学会や研究会に参加し学びを深める
- 学び合いなど、受講生、修了生同士の交流、自主的なサークル活動の継続、延長

修了後も継続する会員制度（予定）

- LRC修了生の会員制度（有料）を**大学が主体的に運営**
- 修了後も継続する活動や情報交換の場を提供
- LRC修了生として、LRCが企画する講演会やイベントに参加可能
- 受講生ラウンジや中央図書館を利用可能、選択する会員種別によってはオープンカレッジの講座を割引受講可能（講座数上限有り）

企業やNPO・NGO等の団体との積極的な連携

- プレシニア/シニアと社会との接続の実現を重視し、将来的には、大学と企業とプレシニア/シニアの好循環サイクルの形成を目的とするコンソーシアムの設立を計画中
- 産学連携について、LRCの基本理念に賛同する株式会社電通と協働

※また現在、複数の企業および団体と継続交渉中
(具体的には次ページのような取り組みを想定)

改正高年齢者雇用安定法が令和3年4月から施行され、
企業の取り得る対応として同一企業での継続雇用のほか、
社会貢献事業に従事できる制度の導入といった選択肢も追加されているため、
この制度との接続も視野に入れる

想定する連携事例

- 連携企業退職予定者（退職者）をLRCへ受け入れ
- 連携企業や団体が展開する社会貢献活動の紹介、修了生の参画協力
- 連携企業や団体が展開する社会貢献活動をテーマとする寄付講座の設置
- 連携企業からのシニアモニター募集
- 連携企業や団体が必要とするスキルをもつ修了生との接続
- 連携企業や団体内の研修への接続（専門性を持つ修了生が講師に）
- 連携企業における退職予定者へのガイダンス実施（カリキュラム紹介、修了生との対話）
- その他、受講生の学びや修了生の活動の場の提供に関する取り組み

受講資格	2023年4月1日現在50歳以上で、高等学校卒業（卒業見込み者を含む） またはこれと同等以上の学力があると認められた方
募集人員	70名程度
申込期間	2022年12月20日（火）～2023年1月31日（火）
選考方法	書類審査（課題エッセイ等）
選考料	10,000円
選考結果発表	2023年2月17日（金）
入学手続期間	2023年2月18日（土）～2023年2月28日（火）
受講料	年間484,000円（税込み）

2023年4月1日現在50歳以上で、高等学校卒業（卒業見込み者を含む）
またはこれと同等以上の学力があると認められた方※

※具体的な事例

高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格者

高等専門学校卒業生

書類審査

「受講申込ウェブフォーム（以下、ウェブフォーム）」への入力内容を総合的に判断します。

12月20日正午以降にLRCウェブサイト内の「入学するには」
(<https://lrc.waseda.jp/admissions/>) のページ最下段にウェブフォームへのリンクを設置します。
このウェブフォームに必要事項全てを入力いただきます。

【注意】 入力に誤りのないよう、また手元に入力内容を保存するためにも同じページへ掲載されているWord版の「受講申込書（手元用）」をダウンロードし、ウェブフォームへの入力前に手元のパソコン等で作成することを強く推奨します。

ウェブフォームへの入力は事前に作成したWord版の「受講申込書（手元用）」からコピーし、貼り付けると非常に簡単かつ入力誤りが少なくなります。

書類審査（課題エッセイ）

2023年度入学選考の課題エッセイは以下の3題です（3題とも要回答）。

※いずれも400字以内で記述すること。

- Life Redesign Collegeへの志望動機を記述してください。
- Life Redesign Collegeに期待すること（入学後の学びや学生生活など）を記述してください。
- 最近気になったニュースについて、あなたの意見を含めて記述してください。

選考結果通知

2023年2月17日にウェブフォームに登録いただいた電子メールアドレスへ発信します。
選考結果に関するお問い合わせには対応いたしかねます。あらかじめご了承ください。

入学手続

入学手続期間（2月18日～2月28日）に、手続書類の提出と半期分の受講料（24万2千円）
の納入が必要となります。

※諸事情（未知の感染症の流行など）により、入学手続者が一定数に達しなかった場合は開講を取りやめる
ことがあります。その場合、すべての出願者および入学手続者より納入された選考料と受講料を返還します。

提出方法等詳細については本日公開のLRC公式ホームページに掲載の
「Life Redesign College (LRC) 募集要項」を確認してください。

LRC公式ホームページURL : <https://lrc.waseda.jp/>

本日、ご来場の皆様には印刷したものをお配りしております。